

## ■ 公開講演会 ～グリーンなアジアを創造する～

### 「再生可能エネルギーは日本を救えるか？」



#### 田中 俊六

東海大学名誉教授／元東海大学学長

福島第一原発事故以降、日本では多くの国民が、再生可能エネルギーの利用促進を支持するようになってきています。また、前政権は、2030年代までにすべての原発を廃止することを宣言し、風力、水力、太陽光といった再生可能エネルギーを大規模に導入する計画を明らかにしました。しかし、狭い国土、比較的穏やかな気候、GDPや電力需要の大きさ、といった条件の下にあるわが国は、十分な量の再生可能エネルギーに恵まれているわけではありません。

さらに、再生可能エネルギーの利用技術は、太陽光を除き、古典的な熱力学に基づいたものであるため、短期的な技術改良の余地は限られていると考えます。

わが国としては、これから2030年にかけて、化石燃料(シェールガス)、原子力、そして比較的小さな割合の再生可能エネルギーといった、さまざまなエネルギー源のベストミックスを追求していく必要があります。

### 「現代美術から見る東南アジアの文化と社会」



#### 後小路 雅弘

九州大学人文科学研究院教授

過去20年間、東南アジアは、冷戦構造の崩壊、目覚ましい経済成長、グローバル化、伝統的価値観の浸食、環境破壊などによって、急激な政治的、経済的、社会的変化に見舞われました。彼の地のアーティストたちが、自らの制作活動を通して、こうした変化や発展にどのように応答しようとしてきたのかを、具体的な作品を紹介しながら見ていきたいと思えます。